

医療・健康に着目、多文化共生社会の「いのち」を考える

～6 月 29 日 地球市民賞受賞団体をスピーカーに迎え、オンライン公開シンポジウムを開催～

国際交流基金（JF）は、6 月 29 日（日）にオンライン公開シンポジウム「これからの多文化共生における『いのち』の支え方」を開催します。

このたび着目した「医療・健康」分野は、多様化する外国人住民の重要課題のひとつです。JF が長年実施している「国際交流基金地球市民賞」の受賞団体の事例から、外国人住民の「いのち」の支え方を学び、全国各地で活動する国際文化交流団体の今後のあり方を参加者と考えます。各団体のグッド・プラクティスや取り組みから見えてきた課題、今後の可能性について議論するとともに、地域の他団体や住民、関係機関とのネットワーキングや情報発信等の事例を紹介します。

JF 東京本部（四谷）の配信会場でご取材いただけます。ご希望の方は、広報担当者まで事前にご連絡ください。



記

事業名称：国際交流基金（JF）国際交流基金地球市民賞 オンライン公開シンポジウム「これからの多文化共生社会における『いのち』の支え方」

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

開催日程：2025 年 6 月 29 日（日） 14:00～16:00

モデレーター：田村 太郎（ダイバーシティ研究所 代表理事 / 2024 年度地球市民賞選考委員）

プログラム：

14:00～14:15 主催者挨拶・市民賞概要説明

趣旨説明・スピーカー紹介

14:15～15:00 セッション 1

発表①：佐賀県国際交流協会 本村 実枝子

発表②：高田馬場さくらクリニック 富田 茂

発表③：多言語社会リソースかながわ 松野 勝民

ディスカッション

15:00～15:35 セッション 2

発表④：地域サポートわかさ 佐藤 純子

発表⑤：MIYAZAKI C-DANCE CENTER 野邊 壮平

ディスカッション

15:35～15:55 質疑応答・総括

15:55～16:00 主催者挨拶・公募案内

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

オンライン視聴申込方法：<https://dx-mice.jp/EZEntry/jf-symposium/Entry/>

※なお、シンポジウムは後日、JF YouTube チャンネルに掲載します。



登壇者プロフィール

スピーカー



高田馬場さくらクリニック（東京都・2020 年度地球市民賞受賞）

院長 富田 茂

団体概要

外国人が多く暮らす新宿区高田馬場にて、アジアの国々にルーツのある人々をスタッフとして協働し、地域の外国人コミュニティと連携しながら多言語で受診者のニーズに寄り添った対応を行う「多文化クリニック」を運営することに加え、外国人住民の予防医療やスタッフの人材育成にも尽力している。



認定 NPO 法人多言語社会リソースかながわ（神奈川県・2013 年度地球市民賞受賞）

理事長 松野 勝民

団体概要

多言語による医療通訳の派遣や養成を行う NPO 法人。行政と協働で知識とスキルを身につけたボランティア医療通訳者を派遣する枠組みを構築。各地での医療通訳養成講座に経験を積んだ通訳者を講師として派遣するなど、医療通訳の普及に努める。医療以外の分野でも、学校や児童相談所でのコミュニティ通訳活動も行っている。



公益財団法人佐賀県国際交流協会（佐賀県・2024 年度地球市民賞受賞）

職員 本村 実枝子

団体概要

1990 年設立。近年は国際交流活動で培われた知見を生かしつつ、県内外国人住民の増加を背景に多文化共生をテーマに活動をシフト。外国人・日本人双方からの相談対応や、高い専門知識や倫理意識が求められる医療通訳・災害時の多言語支援を行う。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



Photo by Nishi Junnosuke

NPO 法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER（宮崎県・2024 年度地球市民賞受賞）
代表理事 野邊 壮平

団体概要

振付家・ダンサー「んまっポス」が学生起業し、字幕がいらぬ創作ダンスというノンバーバルな交流を通して国や文化、世代の壁を軽やかに越境すること、また地域の芸術文化の振興に留まらず、創作ダンスの普及活動を通して人々の健康増進にも寄与する活動を展開。



NPO 法人地域サポートわかさ（沖縄県・2022 年度地球市民賞受賞）
職員 佐藤 純子

団体概要

沖縄県那覇市若狭地域を拠点に、公民館や児童館の指定管理を担いながら、住民と協働で文化・福祉・学びの場を創出。多様な地域住民の声を活かし、誰もが参加できる地域づくりを実践している。

モデレーター



一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事
2024 年度国際交流基金地球市民賞 選考委員
田村 太郎

略歴

阪神・淡路大震災での外国人被災者支援を機に、1995 年 10 月「多文化共生センター」を設立。地域における多文化共生の推進に従事。東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、現在も復興庁・復興推進参与として東北復興にも携わる。総務省など国や地方自治体の多文化共生関連委員を歴任。共著に『多文化共生キーワード事典』『自治体施策とユニバーサルデザイン』などがある。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

「国際交流基金地球市民賞」について

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/index.html>

1985 年、全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデア、情報を交換し、ともに考える団体を支援する賞として創設。これまでに 124 の団体等が受賞しています。本賞は、公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体を対象とし、地域に根差した活動を通じて日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援するものです。

JF では、現在、2025 年度「国際交流基金 地球市民賞」の受賞候補団体の応募を受け付けています。自薦・他薦を問わずご応募いただけます。受賞団体は、有識者らによる審査を経て決まり、2026 年 1 月中に JF 公式ウェブサイトで発表します。

今年度の応募締め切りは、2025 年 7 月 23 日（水）です。

応募ガイドライン <https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/index.html>



以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp